

研修会 評価

研修名	看護記録と法的責任～看護記録はどうあるべきか～				
領域	医療安全研修	会場	看護研修センター	受講料	会 員 3,080 円 非会員 6,160 円
対象	学習段階レベル：ラダーレベルⅡ～Ⅳ (Ⅰ)：募集数(60人)応募数(68人)参加数(64人)会員数(63人)非会員数(1人) (Ⅱ)：募集数(60人)応募数(48人)参加数(45人)会員数(40人)非会員数(5人) ※Ⅰ・Ⅱは同じ内容				
日時	(Ⅰ)：令和 4年 9月 21日(木曜日) 10:00 ～ 16:00 (Ⅱ)：令和 4年 9月 22日(金曜日) 10:00 ～ 16:00				
ねらい(目標)	看護記録の法的意義を学び、日々の看護記録に活かすことができる。				
講師	稲葉 一人				
内容・方法	講義：看護記録と法的意責任～看護記録はどうあるべきか～				
結果・評価 (受講者の意見 感想含む)	アンケートにて評価する。アンケート回答数2日間総計で56名(回収率51%) 理解度は「理解できた」「ほぼ理解できた」が54名96%であった(昨年度98%)。 研修の満足度は「満足できた」「ほぼ満足できた」55名98%であった(昨年度 97%)。また、学習課題の達成度は「達成できた」「ほぼ達成できた」が54名96% であった(昨年度89%)。80%以上を達成基準と定めており、研修のねらいは、達 成できたと判断する。				
企画の評価	アンケートにて評価する。ねらいとの整合性は「整合性はあった」「ほぼあつ た」が56名100%(昨年度98%)であった。80%以上を達成基準と定めており、 医療安全研修としてこの企画は有効であった。				
課題	今年度からベーシックコース・アドバンスコースと区別せず同じ内容で実施し たが、アンケートの回答に研修の区別を希望する意見はなかった。受講者数は109 名であった(昨年度118名参加ZOOM参加あり)。ZOOM参加の手軽さはないが募集 人数とほぼ同数の参加希望あり、受講需要は高いと考える。理解度、満足度は基 準を満たしていた。記録の重要性と参加者割合をみると来年度も継続した方がよ いと考える。				
担当者	医療・看護安全委員				